



# MosP インストール参考手順

## Ver4

2014/07/31

## 目 次

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. MOSP VERSION4 の環境 .....      | 3 |
| 2. サーバ環境インストール .....            | 3 |
| 3. 以前の MOSP のデータを引き継ぎたい場合 ..... | 7 |

## 1. MosP Version4 の環境

- サーバ環境
  - OS CentOS 6.2
  - DB PostgreSQL 8.4.X
  - アプリケーションサーバ Apache 2.2.X Tomcat 6.0.X
  - Java openjdk 1.6.X
- クライアント環境
  - OS Microsoft Windows / Vista / 7 / 8
  - ブラウザ FireFox 最新版 Microsoft Internet Explorer 9 / 10 / 11
  - 付帯ツール PDF

## 2. サーバ環境インストール

- CentOS6.2 インストール

今回はネットワーク越しにインストールするため、インターネットへ接続できる環境が必須

- <http://www.centos.org/> から CentOS-6.2-i386-netinstall.iso をダウンロード
- CD より起動
- Choose a Language Japanese を選択
- Keyboard Type JP106
- Installation Method URL
- Configure TCP/IP Enable IPv4support
- URL Setup
  - ◇ <http://ftp.riken.jp/Linux/centos/6/os/i386>
- インストールが始まったらデフォルトで 次へ をクリックしていく
- root のパスワードを passmosp で設定する
- 再度デフォルトで 次へ をクリックしていく
- Desktop を選択。
- 今すぐカスタマイズで次へをクリックし、以下の設定を行う。
  - ◇ ベースシステム
    - Java プラットフォームのチェックを外す(後に手動で入れるため)
- 次へをクリックし、インストールを開始する。
- インストール後再起動
- 日付と時刻 デフォルト
- ユーザの作成 ユーザ usermosp パスワード passmosp

- ミドルウェアの導入
    - ユーザ usermosp パスワード passmosp でログイン
    - アプリケーション→アクセサリ→GNOME 端末を開く
    - ルート権限になる
      - ◇ su - root
  - Java の導入
    - yum コマンドを用いて java1.6 をインストール
      - ◇ yum install java-1.6.0-openjdk-devel
  - Tomcat の導入
    - yum コマンドを用いて、Tomcat6 をインストール
      - ◇ yum install tomcat6 tomcat6-webapps tomcat6-admin-webapps
  - Apache の導入
    - yum コマンドを用いて、Apache をインストール
      - ◇ yum install httpd
  - Apache と Tomcat の連携
    - proxy\_ajp.conf ファイルを作成し、Apache と連携する。
      - ◇ vi /etc/httpd/conf.d/proxy\_ajp.conf
      - ◇ 書き込みモードにするため i を入力
- 【勤怠の場合】
- 最下部に以下を追記
    - ProxyPass /time4/srv/ ajp://localhost:8009/time4/srv/
    - ProxyPass /time4/pub/ ajp://localhost:8009/time4/pub/
- 【人事の場合】
- 最下部に以下を追記
    - ProxyPass /human4/srv/ ajp://localhost:8009/human4/srv/
    - ProxyPass /human4/pub/ ajp://localhost:8009/human4/pub/
- 【カレッジタイムの場合】
- 最下部に以下を追記
    - ProxyPass /college4/srv/ ajp://localhost:8009/college4/srv/
    - ProxyPass /college4/pub/ ajp://localhost:8009/college4/pub/
- 【給与計算の場合】
- 最下部に以下を追記
    - ProxyPass /payroll4/srv/ ajp://localhost:8009/payroll4/srv/
    - ProxyPass /payroll4/pub/ ajp://localhost:8009/payroll4/pub/
  - ◇ Esc :wq で上書き保存
  - Apache 及び Tomcat のサービス自動起動の設定をする。
    - ◇ chkconfig httpd on

◇ chkconfig tomcat6 on

## ● PostgreSQL の導入

➤ yum コマンドを用いて、PostgreSQL8.4 をインストール

◇ yum install postgresql-server

➤ データベースの初期化をする。

◇ service postgresql initdb

➤ pg\_hba.conf ファイルに追記し、認証方法を指定する。

◇ vi /var/lib/pgsql/data/pg\_hba.conf

◇ 書き込みモードにするため i を入力

- 以下の様に ident を md5 へ書き換える。

➤ host all all 127.0.0.1/32 md5

◇ Esc :wq で上書き保存

➤ PostgreSQL のサービス自動起動の設定をする。

◇ chkconfig postgresql on

➤ PostgreSQL のサービスを起動する。

◇ service postgresql start

➤ Postgres のパスワード設定

◇ su - postgres

◇ psql

◇ ¥password

◇ 新しいパスワード:postgres

◇ もう一度入力してください:postgres

◇ ¥q

◇ exit

## ● yum コマンドを用いて、システムのアップデートをする。

◇ yum update

## ● アプリケーションの導入

➤ ルート権限へ変更

◇ su - root

### 【勤怠の場合】

・ ダウンロードした time4.war を tomcat の webapps に配置する

◇ mv /“time4.war ファイルまでのパス”/time4.war /usr/share/tomcat6/webapps/time4.war

### 【人事の場合】

➤ ダウンロードした human4.war を tomcat の webapps に配置する

◇ mv /“human4.war ファイルまでのパス”/human4.war /usr/share/tomcat6/webapps/human4.war

### 【カレッジタイムの場合】

➤ ダウンロードした college4.war を tomcat の webapps に配置する

◇ mv /“college4.war ファイルまでのパス”/college4.war /usr/share/tomcat6/webapps/college4.war

#### 【給与計算の場合】

➤ ダウンロードした payroll4.war を tomcat の webapps に配置する

◇ mv /“payroll4.war ファイルまでのパス”/payroll4.war /usr/share/tomcat6/webapps/payroll4.war

➤ Apache と Tomcat の再起動

◇ /etc/rc.d/init.d/httpd restart

◇ /etc/rc.d/init.d/tomcat6 restart

### ● MosP データベースの導入

➤ ブラウザを開き以下 URL へつなぐ

#### 【勤怠の場合】

◇ <http://localhost/time4/pub/common/html/setup.html>

#### 【人事の場合】

◇ <http://localhost/human4/pub/common/html/setup.html>

#### 【カレッジタイムの場合】

◇ <http://localhost/college4/pub/common/html/setup.html>

#### 【給与計算の場合】

◇ <http://localhost/payroll4/pub/common/html/setup.html>

➤ PostgreSQL に繋ぐ

◇ サーバ:localhost

◇ ポート番号:5432

◇ postgres パスワード:postgres

➤ mospv4DB、ロールを作成する

◇ MosP で使用する DB 名:mospv4

◇ DB ユーザ名:usermosp

◇ DB パスワード:passmosp

➤ 新規ユーザを登録する(下記は例)

◇ 社員コード:100001 有効日:入社日 入社日:入社日

◇ 氏名 人事 一郎 (シンジイチロウ) MosP ユーザ名 100001

\* 新規社員登録についてはオペレーションマニュアル参照

➤ MosP へ GO ボタンを押下し、MosP へログインをする

### ● 以降は各オペレーションマニュアル参照

➤ MosPURL

#### 【勤怠の場合】

◇ <http://localhost/time4/pub/>

#### 【人事の場合】

◇ <http://localhost/human4/pub/>

#### 【カレッジタイムの場合】

◇ <http://localhost/college4/pub/>

【給与計算の場合】

◇ <http://localhost/payroll4/pub/>

- ファイアーウォールの設定

- システム → 管理 → ファイアーウォールを選択
- root のパスワードを入力
- 信頼したサービスの「WWW(HTTP)」にチェックを入れる。
- 適用をクリックする。
- 「はい」を選択する。
- クライアント PC からアクセスする。

【勤怠の場合】

◇ [http://\[サーバーIP\]/time4/pub/](http://[サーバーIP]/time4/pub/)

【人事の場合】

◇ [http://\[サーバーIP\]/human4/pub/](http://[サーバーIP]/human4/pub/)

【カレッジタイムの場合】

◇ [http://\[サーバーIP\]/college4/pub/](http://[サーバーIP]/college4/pub/)

【給与計算の場合】

◇ [http://\[サーバーIP\]/payroll4/pub/](http://[サーバーIP]/payroll4/pub/)

- ログイン画面が表示されれば成功。

### 3. 以前の MosP のデータを引き継ぎたい場合

作成した DB 名・ユーザ名がデフォルト通り、DB 名 : mospv4、DB ユーザ名 : usermosp だと、  
新バージョンでの DB 変更がない限りそのまま war ファイルだけを入れ替えてご利用頂けます。

DB 名 : mospv4、DB ユーザ名 : usermosp とは別名で作成した場合は、DB 設定ファイルを作成する必要があります。

DB 設定ファイルを作成するにはアップデート機能をご利用下さい。

- アップデート機能

- ブラウザを開き以下 URL へつなぐ

【勤怠の場合】

◇ <http://localhost:8080/time4/pub/common/html/update.html>

【人事の場合】

◇ <http://localhost:8080/human4/pub/common/html/update.html>

【カレッジタイムの場合】

◇ <http://localhost:8080/college4/pub/common/html/update.html>

【給与計算の場合】

◇ <http://localhost:8080/payroll4/pub/common/html/update.html>

- 入力事項を入力する

- ◇ サーバ:localhost
- ◇ ポート番号:5432
- ◇ MosP で使用する DB 名:(使用したい DB 名)
- ◇ DB ユーザ名:(使用したい DB ユーザ名)
- ◇ DB パスワード:(使用したい DB パスワード)
- 作成ボタンを押下する
  - ◇ 作成が完了すると、MosP ログイン画面へ遷移する